

BASF「xarvio® FIELD MANAGER（ガルビオ フィールドマネージャー）」の 総合防除における活用方法



 Who	 How	 What（提供価値）	
対象	提供方法	短期のPDCA	長期のPDCA
農家	気象情報、衛星画像データを自動取得し(①)、品種や防除資材の特性を踏まえ(②)、生育・病害・雑草発生予測や適期防除作業推奨(④)を行う	今季の作付け情報を入力するだけで、リスク診断や作業推奨に基づいた肥培管理、病害虫管理ができる	連作障害も考慮したアルゴリズムのため、作期横断的に病害虫管理の最適化ができる
	GPS連動した画像診断機能により、病害虫情報を簡易に入力・共有でき(③)、作業割り当て機能により作業者と実績を簡便に集約する(⑧)	- 簡易・迅速な情報共有により、早期の防除が可能となる - 作業管理者は、防除等の作業を適正に管理できる	病害虫発生情報を簡易に振り返ることができ、次作の対策に活かせる
農家・普及機関	アカウント連携機能により、複数組織における情報共有・分析ができる(⑧)	面的に可視化することで、病害虫のまん延の兆候を、いち早く察知でき、早期防除が可能となる	農家と普及機関が共同して、リスク伝搬経路や要因を分し、地域全体の作付計画の検討や、対策ができる
普及機関	アカウント連携・ダッシュボード機能(⑧)を通じて管内農家の営農記録や、生育・病害・雑草発生予測を把握できる(④)	- 管内の病害リスクをいち早く把握し、産地全体に注意喚起できる - 高リスクの地域や作目を優先的に指導し、被害を最小化できる	作期中の病害発生やリスクの傾向から、次作の防除指導に反映できる

※番号毎の機能の詳細は、別途作成した「モデル事例（プロセス別の特徴とメリット）」を参照のこと